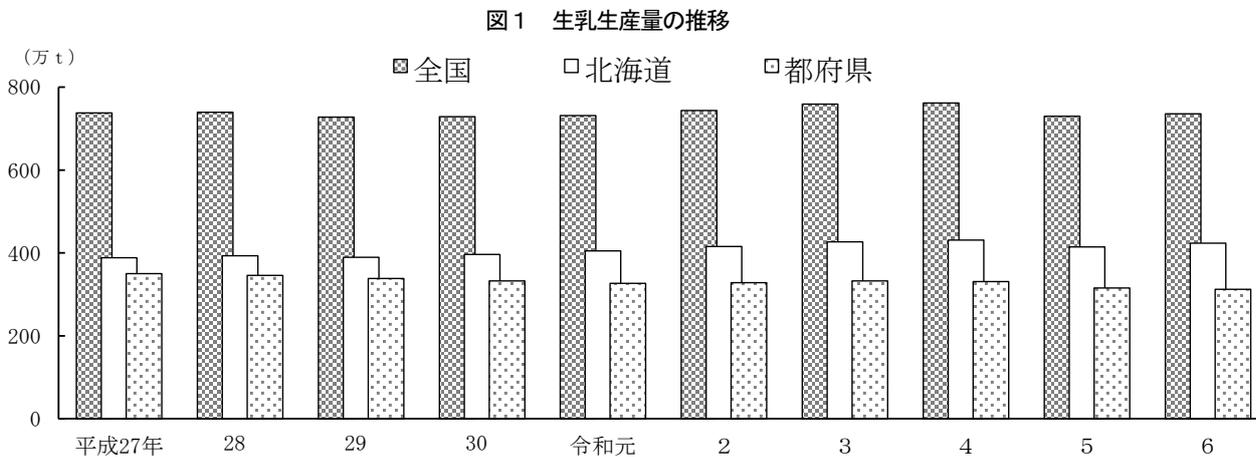


1 生乳生産量と用途別処理量

(1) 生乳生産量

生乳の生産量は735万7,451tで、前年に比べ0.8%増加した。

また、北海道の生乳生産量は423万3,050tで、前年に比べ2.1%増加した一方で、都府県の生乳生産は312万4,401tで、前年に比べ0.9%減少した。



(2) 用途別処理量

生乳の処理量を用途別にみると、牛乳等向け処理量は382万3,034tで、前年に比べ0.7%減少し、乳製品向け処理量は348万7,162tで、前年に比べ2.5%増加した。

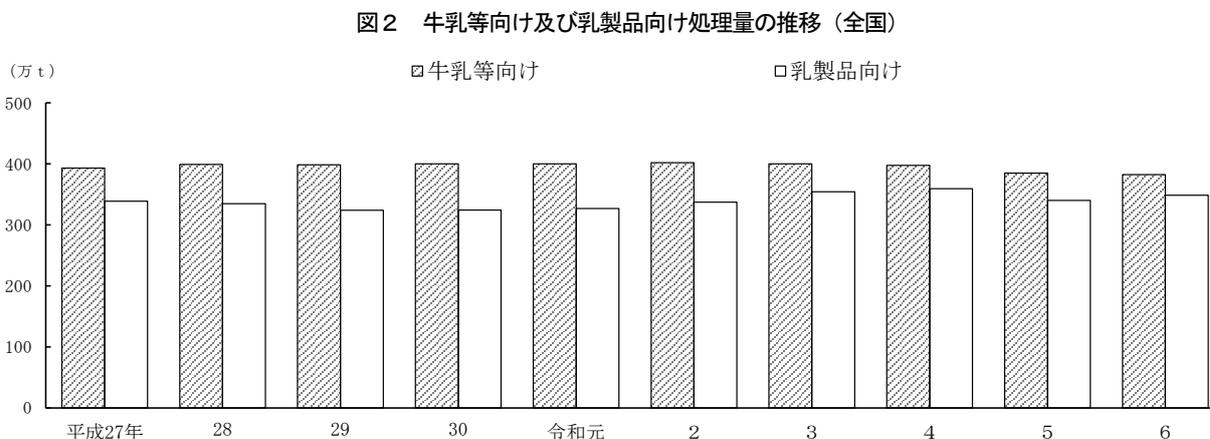


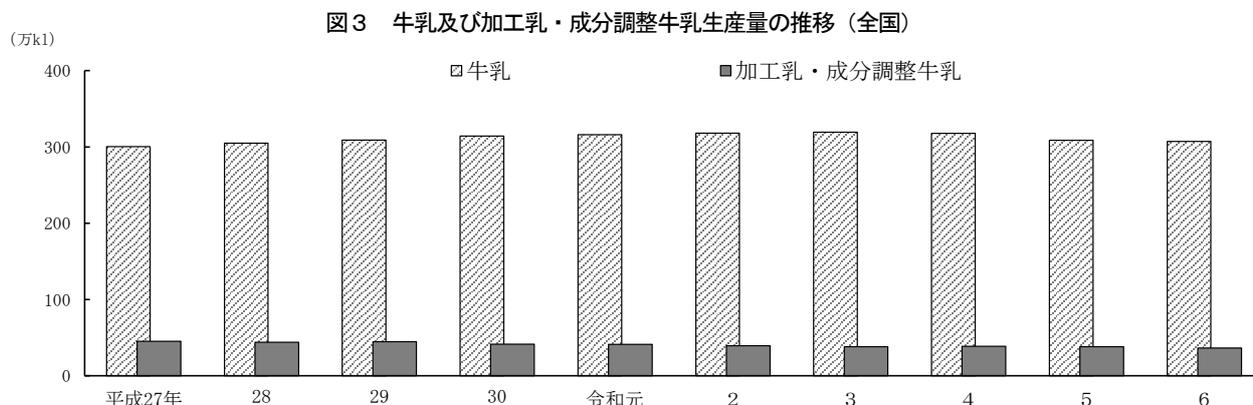
表1 生乳生産量 (全国、北海道・都府県別) 及び用途別処理量 (全国)

年次	生乳生産量			用途別処理量				
	全国	北海道	都府県	牛乳等向け	乳製品向け		その他	
					業務用向け	チーズ向け		
令和5年	7,298,933	4,146,981	3,151,952	3,850,302	297,439	3,402,222	450,609	46,409
6	7,357,451	4,233,050	3,124,401	3,823,034	297,054	3,487,162	447,211	47,255
対前年比 (%)	100.8	102.1	99.1	99.3	99.9	102.5	99.2	101.8

2 牛乳等生産量

(1) 飲用牛乳等生産量

飲用牛乳等の生産量をみると、牛乳の生産量は307万3,420k1で、前年に比べ0.4%減少し、加工乳・成分調整牛乳の生産量は36万3,750k1で、前年に比べ4.7%減少した。



(2) 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料生産量

乳飲料の生産量は101万8,384k1で、前年に比べ4.7%減少した一方で、はっ酵乳の生産量は102万4,492k1、乳酸菌飲料の生産量は10万5,527k1で、前年に比べそれぞれ2.9%、8.3%増加した。

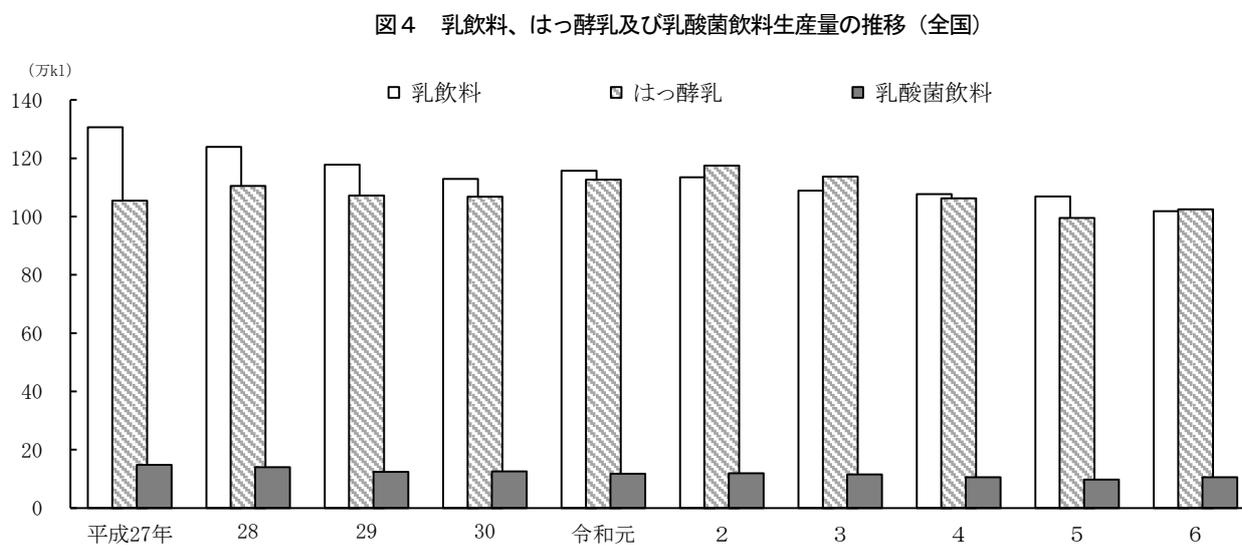


表2 牛乳等生産量（全国）

年次	飲用牛乳等							乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料
	計	牛乳		加工乳・成分調整牛乳						
		業務用	学校給食用	業務用	成分調整牛乳	成分調整牛乳				
令和5年	3,468,400	3,086,762	273,851	345,055	381,638	70,709	237,636	1,068,946	995,523	97,402
6	3,437,170	3,073,420	272,431	341,292	363,750	70,731	216,406	1,018,384	1,024,492	105,527
対前年比 (%)	99.1	99.6	99.5	98.9	95.3	100.0	91.1	95.3	102.9	108.3

3 乳製品生産量

主な乳製品の生産量をみると、脱脂粉乳は15万2,983t、バターは7万1,723t、クリームは12万904tで、前年に比べそれぞれ6.0%、6.5%、3.0%増加した一方で、チーズは14万8,618tで前年に比べ0.1%減少した。

図5 主要乳製品生産量の推移（全国）

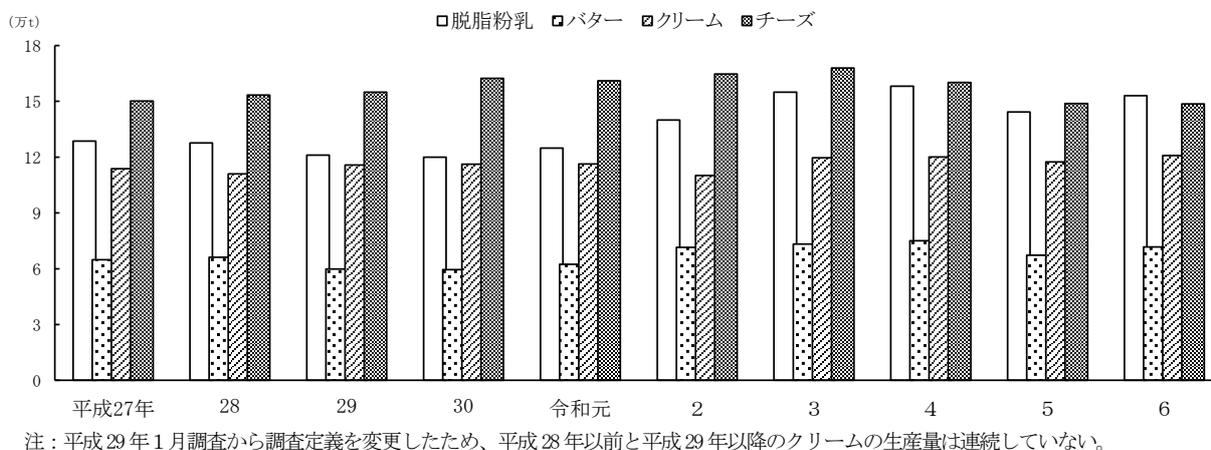


表3 乳製品生産量（全国）

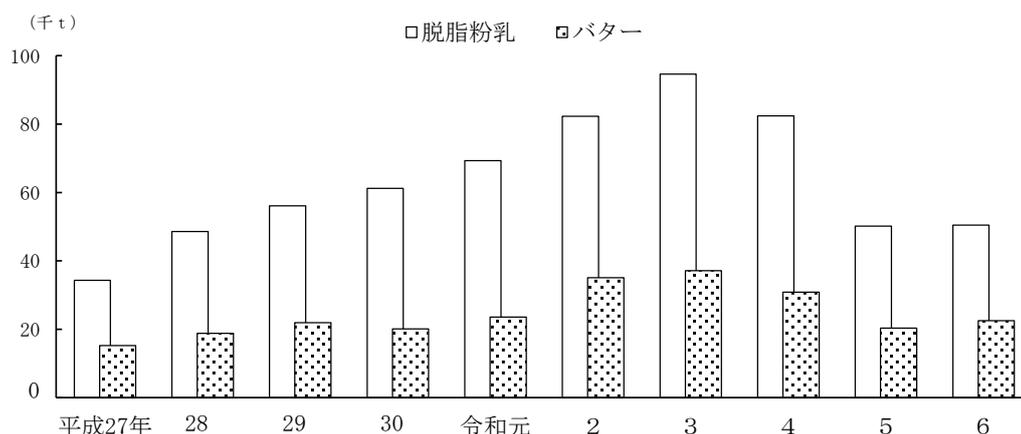
年次	全粉乳	脱脂粉乳	調製粉乳	ホエイパウダー	バター	クリーム
	t	t	t	t	t	t
令和5年	10,515	144,284	29,902	17,807	67,337	117,379
6	11,258	152,983	26,715	16,710	71,723	120,904
対前年比 (%)	107.1	106.0	89.3	93.8	106.5	103.0

年次	チーズ	直接消費用ナチュラルチーズ		プロセスチーズ	加糖れん乳	無糖れん乳	脱脂加糖れん乳	乳脂肪分8%以上のアイスクリーム
	t	t	t	t	t	t	t	kl
令和5年	148,808	33,785	115,023	30,186	420	3,235	134,517	
6	148,618	33,621	114,997	30,278	324	3,281	146,947	
対前年比 (%)	99.9	99.5	100.0	100.3	77.1	101.4	109.2	

4 乳製品在庫量

令和6年12月31日現在の脱脂粉乳の在庫量は5万491t、バターの在庫量は2万2,492tで、前年に比べそれぞれ0.7%、10.7%増加した。

図6 乳製品在庫量（12月31日現在）の推移（全国）



5 牛乳処理場及び乳製品工場数

令和6年12月31日現在の牛乳処理場・乳製品工場（以下「工場」という。）数は539工場
で、前年に比べ3工場減少した。

内訳をみると、牛乳処理場は331工場で前年に比べ1工場減少し、乳製品工場は152工場
で1工場増加した。

また、生乳処理量規模別にみると、1日当たり2t以上の工場数は、牛乳処理場が183工場
で前年に比べ1工場増加し、同規模の乳製品工場は前年と同数の38工場であった。

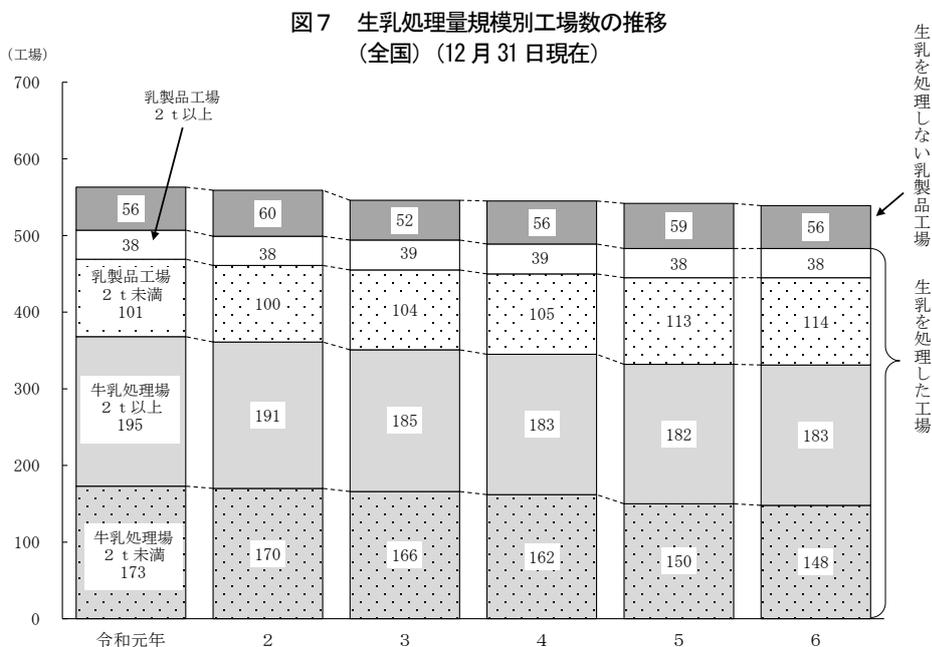


表4 生乳処理量規模別工場数 (全国) (12月31日現在)

年次	合計	生乳を処理した工場							生乳を処理しない乳製品工場		
		計	牛乳処理場			乳製品工場			計	2t未満	2t以上
			小計	2t未満	2t以上	小計	2t未満	2t以上			
令和5年	542	483	332	150	182	151	113	38	59		
6	539	483	331	148	183	152	114	38	56		
対前年差	△3	0	△1	△2	1	1	1	0	△3		

注：1 生乳処理量規模別は、12月における1日当たりの生乳の平均処理量を基に区分した。

2 本統計表では、生乳を処理した工場の分類として、生乳を主として牛乳等の生産に仕向けた工場を「牛乳処理場」、主として乳製品の生産に仕向けた工場を「乳製品工場」としている。